

授業コード： 2210500100

英文科目名称: Seminar for Basic Nursing Science

授業種類	【開講】	【授業時間】		
	通年	30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	メールアドレス】
	渡辺 弘之	新潟県立看護大学	208	hiro@niigata-cn.ac.jp
	徐 淑子	新潟県立看護大学	316	suhs@niigata-cn.ac.jp
	中村 義実	新潟県立看護大学	210	ynakao@niigata-cn.ac.jp
	エルダトン サイモン	新潟県立看護大学	214	elderton@niigata-cn.ac.jp
	永吉 雅人	新潟県立看護大学	211	nagayosi@niigata-cn.ac.jp
	石井 角保	新潟県立看護大学	321	sishii@niigata-cn.ac.jp
◎堀江 正男	新潟県立看護大学	315	mhorie@niigata-cn.ac.jp	
葛城 美徳	新潟県立看護大学	314	kasurag@niigata-cn.ac.jp	
	【本学の科目区分】			
	教養科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】			
	看護師課程			
	【DP1】	【DP2】	【DP3】	【DP4】
	○			○
				【DP5】
				【DP6】
				【DP7】
				◎

到達目標	・ 基本的なアカデミックスキルを学び、駆使できる ・ 学生同士や教員との人間的な交流を通じて、個性を尊重し相互に刺激し合う関係を確立できる ・ 学問探究の面白さを深く自覚して、その推進者となる資質を獲得できる
授業概要	担当教員毎に10名前後の学生が配置されるセミナー形式とし、チュートリアル(少人数教育)形式の内容を生かし、選択される課題(テーマ)について全員参加で討論・調査・相談・報告(発表)を積み重ねながらステップ・アップしていく学習を行う。 テーマは、各教員の専門性の違いにより多岐にわたるが、おおむね以下のような範疇が呈示されている。①写真表現と発表、②社会調査への招待、③思考の整理学、④比較文化、⑤支援技術、⑥血圧と脈拍の生理、⑦レポート作成とヒト臓器の組織観察、⑧分子生物学的実験手法と両生類の胚発生である。それぞれのテーマについては次ページ以降に担当教員毎にその詳細が記載されている。 【注意】なお、ゼミナールは第1セメスター(前期)から第2セメスター(後期)にかけて実施されるが、教員によって期間は異なる。
授業計画	1-15 授業内容 授業形態：対面または遠隔 学修課題：各基礎ゼミナールの当該項目を参照 学修内容：授業は各教員がテーマに準じて配分・配慮した内容でおこなわれる。ただし下記にあげた項目は、基礎ゼミナールにおける学習活動に不可欠な基本的な知的探求技術(アカデミックスキル)と考えられ、それぞれの習得に関しては各教員が配慮する。 1. 文献・書籍検索 2. インターネット検索 3. 情報の整理方法 4. 研究機器・実験器具の取り扱い・操作方法 5. 討論の方法 6. 発表の方法(口演、展示) 7. 研究の整理方法 8. 論文・報告書の書き方 各ゼミナールの課程には、共通してこれらのアカデミックスキルの学習が指導され、また、習得するための訓練内容が含まれる。 事前学修：各基礎ゼミナールの当該項目を参照 事後学修：各基礎ゼミナールの当該項目を参照 備考：
評価方法、評価基準	各ゼミナールの専門性によって評価方法が異なるため、具体的な評価基準はゼミナールごとに各教員が受講学生に示す
必携図書	各基礎ゼミナールの当該項目を参照
参考図書・資料等	各基礎ゼミナールの当該項目を参照

受講、課題、資料 配布等のルール	各基礎ゼミナールの当該項目を参照
教員からのメッ セージ	各基礎ゼミナールの当該項目を参照
オフィスアワー	各基礎ゼミナールの当該項目を参照